

《修士論文要旨》

自然条件から見たスキー場の立地特性に関する一考察

田 邊 友 啓*

筆者は“バカ”が付くほどのスキー好きである。大学に入学しグルンドスキーチームというスキーサークルに入って以降、毎年、冬になればスキー場に行き、2ヶ月間程スキーをしている。そんな筆者は学部時代の卒業論文では『日本におけるスキー場の盛衰にみる課題と展望』という題目で日本のスキー場について研究を行った。大学院でも引き続き日本のスキー場について研究を行っており、日本におけるスキー場が立地している自然条件についての研究を行なっている。また、先行研究については、呉羽（2002, 2009）、白坂（1975, 1982, 2007）などのスキー場を人文地理学的に見た論文はあるものの地形等の自然条件との関わりについて論じたものは少ない。さらに、スキー場がどのような地形に立地しているのかを日本全国のスキー場を対象に調査した研究はないので、本研究は非常に独自性を持った研究であると言える。

日本には463ヶ所（2012（平成24）年現在）のスキー場があるが、それぞれが異なった自然条件のもとで立地しており、それぞれの地形特性や気候特性を活かし、スキー場を経営・営業している。そこで、日本にあるスキー場がどのくらい地すべり地形に立地しているのか、それとは違う地形にはどのくらい立地しているのかを調査した。その結果、200ヶ所ものスキー場が地すべり地形に立地していることがわかった。このことから地すべり地形はスキー場として利用しやすい場所なのではないか、と考え日本の地すべり地に立地しているスキー場を対象に調査をすることで、地すべり地形がスキー場に適しているのかどうかを考察することを本研究の目的とした。

滑落崖に対して直交する物の中で、リフト数が一番多くなっているが、これはリフトが短距離で標高を上がると効率が良いと考えられるので、短距離で距離を稼ぐことができる滑落崖を直交するルートを取ったと思われる。次に上級者コースが多くなっているが、これは滑落崖の地形を利用してコース形成されたためであると考えられる。滑落崖の急斜面をコースにすることで上級者向けのコースができるので、上級者をスキー場に呼び込むための材料になると思われる。

滑落崖に対して横切る物の中で、初級者コースが一番多くなっている。

急斜面を横切ることによって傾斜が緩やかなコース取りができ、初級者であっても滑り降りてくることができるようにするための配慮であると考えられる。

滑落崖を迂回する物の中で、中級者コースと初級者コースが多くなっている。これも急斜面を迂回するためであると考えられる。滑落崖を迂回するコースは尾根になっていることが多く、緩斜面が多い傾向（谷に比べて）にあるので、中級者・初級者コースが多くなったと考えることができる。やはり、スキー場を利用する人、全員が滑れるようにそのような急斜面を迂回するコース作りも必要と思われる。

斜面移動体では初級者コースが多くなっている。これは斜面移動体が緩斜面になりやすいからであると考えられる。初心者のスキー場利用客はスキーやスノーボードを練習する必要がある、そのための場所としてスキー場には緩斜面地帯が必要であると考えられる。また、ゲレンデベースや駐車場・ホテルが立地していることも緩斜面であるからこそだと思われる。緩斜面は非常に重要な斜面で、ゲレンデベース、宿泊施設、駐車場等のスキー場にとって必要な施設が立地しやすい地形なのである。

以上のことから、地すべり地形はスキー場にとって非常に利用しやすい地形であると言える。急斜面、緩斜面、変化に飛んだ斜面、全てがスキー場にとって必要なもので、それらを含んだ地形が地すべり地形なのである。

今回、地すべり地形に立地するスキー場に関して研究したことで、

- ①日本にあるスキー場、463ヶ所を一つ一つ調査した結果、その内の43%が地すべり地形に立地していること
- ②地すべり地形はスキー場に適していること

以上の2点を理解・認識することができた。①は非常に驚いた。このように多くのスキー場が地すべり地形に立地しているのかと認識させられた。スキー場を造った人達は最初から地すべりと知っていてスキー場を作ったのではないと思われる。スキー場に適している地形を選んだ結果、43%ものスキー場が地すべり地形に立地していたのである。②は当たり前のことであるかもしれないが、今回、研究することで地すべり地形はスキー場に適しているということ、特に斜面移動体によって形成された緩斜面はスキー場を設置する上で、利便性が良いということをきちんと整理でき、再認識することができた。しかし、地すべりは再発する恐れもある。幸い、スキー場では地すべりによる事故が報告されていないが、再発すれば大事故に繋がる恐れがあるので、注意していかないといけない。